

妻の結婚指輪は、宝石つきが、4人中3人に。 イマドキの結婚指輪。 【トレンド調査2012首都圏版より】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:鬼頭秀彰)が運営する調査・研究組織のブライダル総研より、『ゼクシィ結婚トレンド調査2012』(首都圏版)から見えてきた、カップルの結婚式の状況や特徴に関する分析をお伝えいたします。

①妻の結婚指輪には、宝石がついているという人が約7割以上。

『ゼクシィ結婚トレンド調査2012』によると、2011年4月～2012年3月までに結婚式(挙式もしくは披露宴・披露パーティ)を実施した人で、結婚指輪を購入したカップルへ「結婚指輪へ石がついているか」、を聞いてみたところ、

妻側で、「石は、ついていない」と回答した人が、26.0%でした。つまり、宝石がついている結婚指輪という人が、約7割以上ということになります。

一方、夫側の結婚指輪については、「石はついていない」結婚指輪を購入したと回答した人が最も多く、2012年度の調査では、76.9%でした。

②妻の結婚指輪に入っている宝石の1位は、「ダイヤモンド」。

妻側の結婚指輪に入っている石は、全体の69.0%が「ダイヤモンド」となっており、最も多い結果となっています。

「ダイヤモンド」以外には、「サファイア」が6.6%と続いています。

「サファイア」が続く理由としては、『サムシング・ブルー』(結婚式における欧米の慣習で、花嫁が青いものを身につけること)を取り入れ、ブルーの石を選ぶ人もいるためなどが考えられます。

普段つける結婚指輪にも、石をつけるなど、女性らしさやこだわりを持っている人が増えているようです。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、“リクルート ブライダル総研調べ”明記いただけますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートマーケティングパートナーズのブライダル事業本部に設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

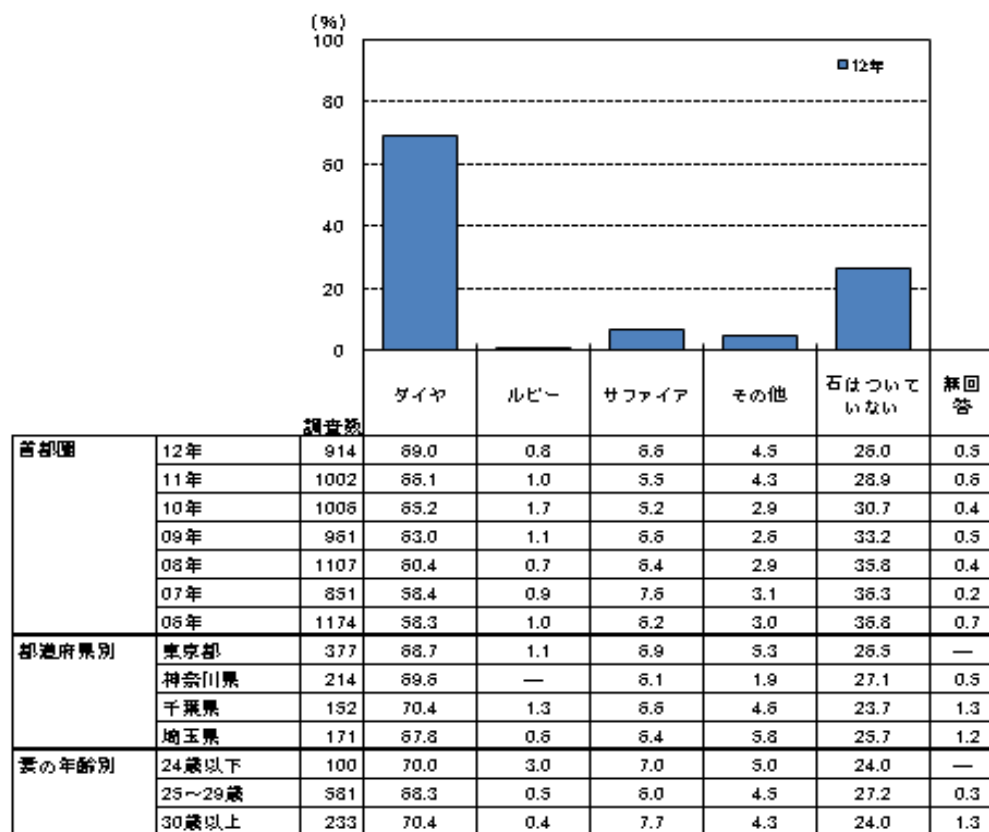
<http://bridal-souken.net/>

■ゼクシィ結婚トレンド調査2012より

【参考データ】

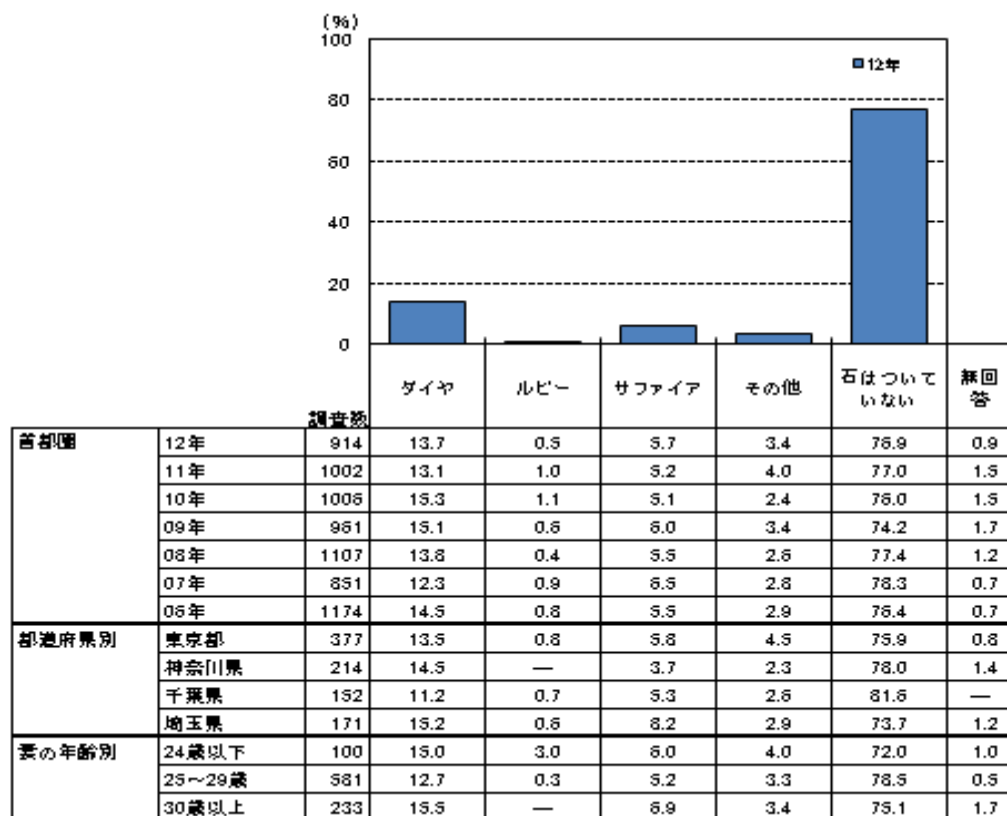
■結婚指輪の石の種類(結婚指輪購入者/複数回答)

【妻】



■結婚指輪の石の種類(結婚指輪購入者/複数回答)

【夫】



【調査概要】

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 2012年4月23日～6月1日

【調査対象】 北海道、青森・秋田・岩手、宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野・山梨、富山・石川・福井、静岡、東海、関西
岡山・広島・山口、四国、九州の2011年4月～2012年3月に結婚(挙式、披露宴・披露パーティ)をした、もしくは結婚予定があった
『ゼクシィ』読者のうち、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。

調査票発送数:20544件 調査票回収数: 7390件 回収率: 36.0%

【集計サンプル数】

計6840人〔北海道:454人、青森・秋田・岩手:181人、宮城・山形:290人、福島:146人、茨城・栃木・群馬:450人、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉):932人、新潟:147人、長野・山梨:237人、富山・石川・福井:232人、静岡:331人、東海(愛知・岐阜・三重):620人、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山):897人、岡山・広島・山口:582人、四国(愛媛・香川・徳島・高知):263人、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島):1078人〕

※回収されたサンプルのうち、対象期間内に挙式または披露宴・披露パーティをどちらも実施していないものは除いています。